



- 所在地 大阪狭山市池尻中2
- 敷地面積 15,412平方メートル
- 建築面積 3,774平方メートル
- 延床面積 4,948平方メートル
- 構造階数 鉄筋コンクリート造
(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
地上3階建
- 工事期間 平成9年6月から平成13年3月
- 設 計 株式会社安藤忠雄建築事務所
- 施 工 藤木・井上共同企業体
- 請負金額 2,551,500千円

本施設は、狭山池の歴史ある堤体断面そのものや発掘された数多くの歴史遺産である遺跡・遺構を保存・展示し、その内容と意義を後世に伝えるための博物館です。

計画にあたっては、水と人の心を結びつけることを意図し、博物館は狭山池全域と一体のものと考え、建物が周辺的环境から突出しないよう、地中に埋め込むことにしています。露出する外壁部分も堤防の一部として、周辺の雰囲気となじむよう石積みを採用しました。

建築構成としては、両側に滝面が迫っている水庭、円形の空庭などを中心に、展示物のスケール感にふさわしいダイナミックな空間のシーケンスが得られるよう意図しています。

巨大な堤体展示室の空調では、冷房と暖房で吹き出し方向を上下逆転させ、省エネを図っているとともに、屋上緑化を設け熱負荷の軽減を図っています